

## 【補助金情報】 平成24年度 次世代型熱利用設備導入緊急対策事業(再公募)について

平成25年4月15日(月)に「平成24年度次世代型熱利用設備導入緊急対策事業」の再公募が開始されました。既存の建物にモイストプロセッサを導入する際に、廃棄されている熱エネルギー(廃熱)を利用し省エネルギーを行うことで、本補助金の対象となる可能性がありますので、ご検討の程宜しくお願い致します。補助事業の概要は下記のとおりです。

### <制度概要>

#### (1) 補助対象事業

- 廃熱利用による正味の年間省エネ量が15kl(原油換算)以上
- 現在は廃棄されている熱エネルギーを活用(大気熱、再生可能エネルギー熱を含まない)
- 廃棄している熱エネルギーの温度帯は300℃以下
- 廃熱温度、エネルギー量、出力エネルギー等を計測・記録するための計量機器を設置
- 従来、回収困難であった廃熱を利用、又は、従来と比べて廃熱回収効率が顕著に向上する技術を活用
- 量産等による価格低減効果が見込まれる技術を活用

#### (2) 補助対象事業者及び申請単位

- 法人格を有していること、または、地方公共団体。  
※ESCO、リースの共同申請も対象

#### (3) 補助対象経費

- 補助対象となる経費は、設計費、設備費、計測装置費、工事費、諸経費。  
※利用する廃熱の変動を吸収するために設置される蓄熱槽も対象

モイストプロセッサは50～60℃程度の熱利用ですので1/2補助に該当します。

#### (4) 補助率及び補助金限度額

- 補助率1/2以内:熱利用設備入口温度140℃以下の廃温水等を投入する場合
- 補助率1/3以内:熱利用設備入口温度140℃を超え、300℃以下の廃温水等を投入する場合  
※1事業あたりの補助金額が100万円未満は対象外

#### (5) 事業期間等

- 原則、平成26年1月17日までに事業完了。
- 事業完了日から30日以内または平成26年1月24日のいずれか早い日までに実績報告書の作成・提出。

モイストプロセッサ設置後に工事・試運転が必要となりますので、おおよそ11月末までの設置が必要です。

#### (6) 公募期間

- 平成25年4月15日(月)～平成25年6月5日(水)17:00必着

その他詳細につきましては、公募要領にてご確認ください。

[詳細内容・お問い合わせ ⇒http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2013/2045764\\_2312.html](http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2013/2045764_2312.html)

こんな施設はありませんか？

- ◆使用した後の温水・蒸気を廃棄している。
- ◆コジェネを導入しているが作ったお湯を利用できていない。
- ◆旧型のエアコンで効率が悪い。
- ◆etc

(問合せ先)

ダイナエア株式会社 営業部 TEL:03-3294-4566

【参考資料】

## エネルギー省力化空調装置

MOIST-PROCESSOR  
*hyper air quality & energy saving*

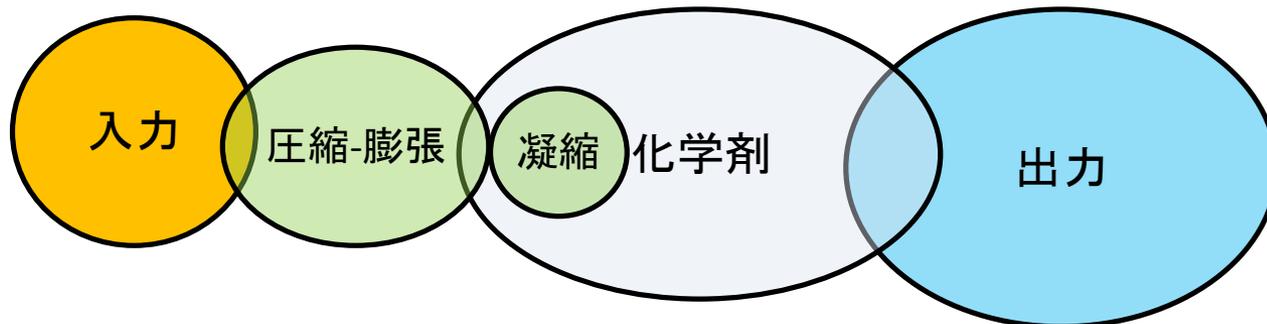
# 化学剤利用の意義

化学剤の吸収・放出力を借りて入力値を削減

## 機械式圧力変化



## 加熱—吸収・吸着力利用



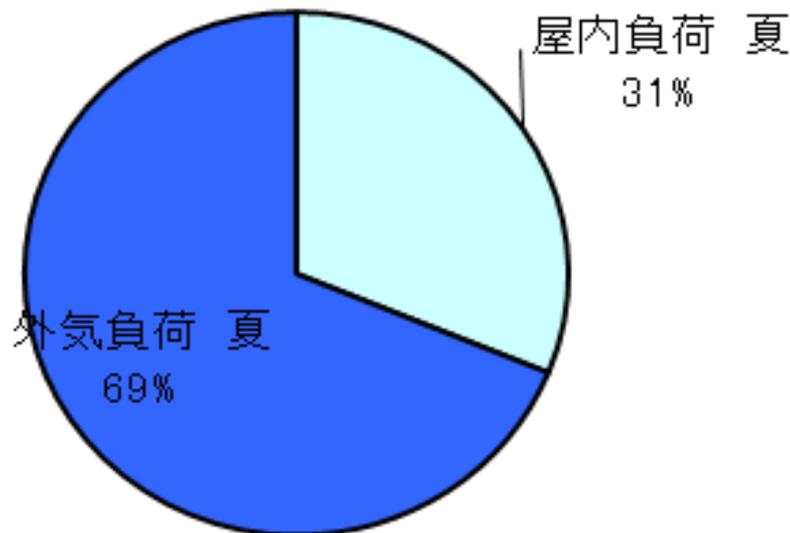
# エネルギー削減要素

	要素	省力化対象機器	概要
1	外調(2種換気方式)	送風機	外気を室内気で希釈しないため最小風量で処理
2	高効率ヒートポンプ(標準型)	ヒートポンプ	膨張温度を+10°C 汲み上げ温度差を減少
	外部熱受給型	排熱利用促進	冷熱 $\leq 17^{\circ}\text{C}$ 温熱 $\geq 50^{\circ}\text{C}$ で出力100%運転可
3	機体内圧力損失	送風機	同等性能冷凍外調機比1/2の圧力損失
4	水蒸気分圧熱伝達	送風機・ダクト	水蒸気分圧差の自己拡散性を利用して動力削減
5	屋内露点管理効果	併置冷却・冷凍機器	露点1°C降下に付き2%の入力エネルギー削減(EPRI米電力総研)

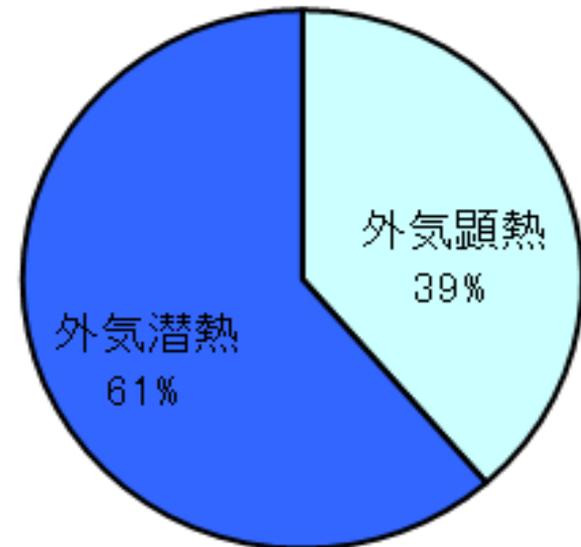
# 要素1-1.空調熱負荷比率

空調において最も大きな負荷は外気湿度(約40%)  
外気湿度(潜熱)を制すれば空調を制す

## 空調 内・外負荷比率

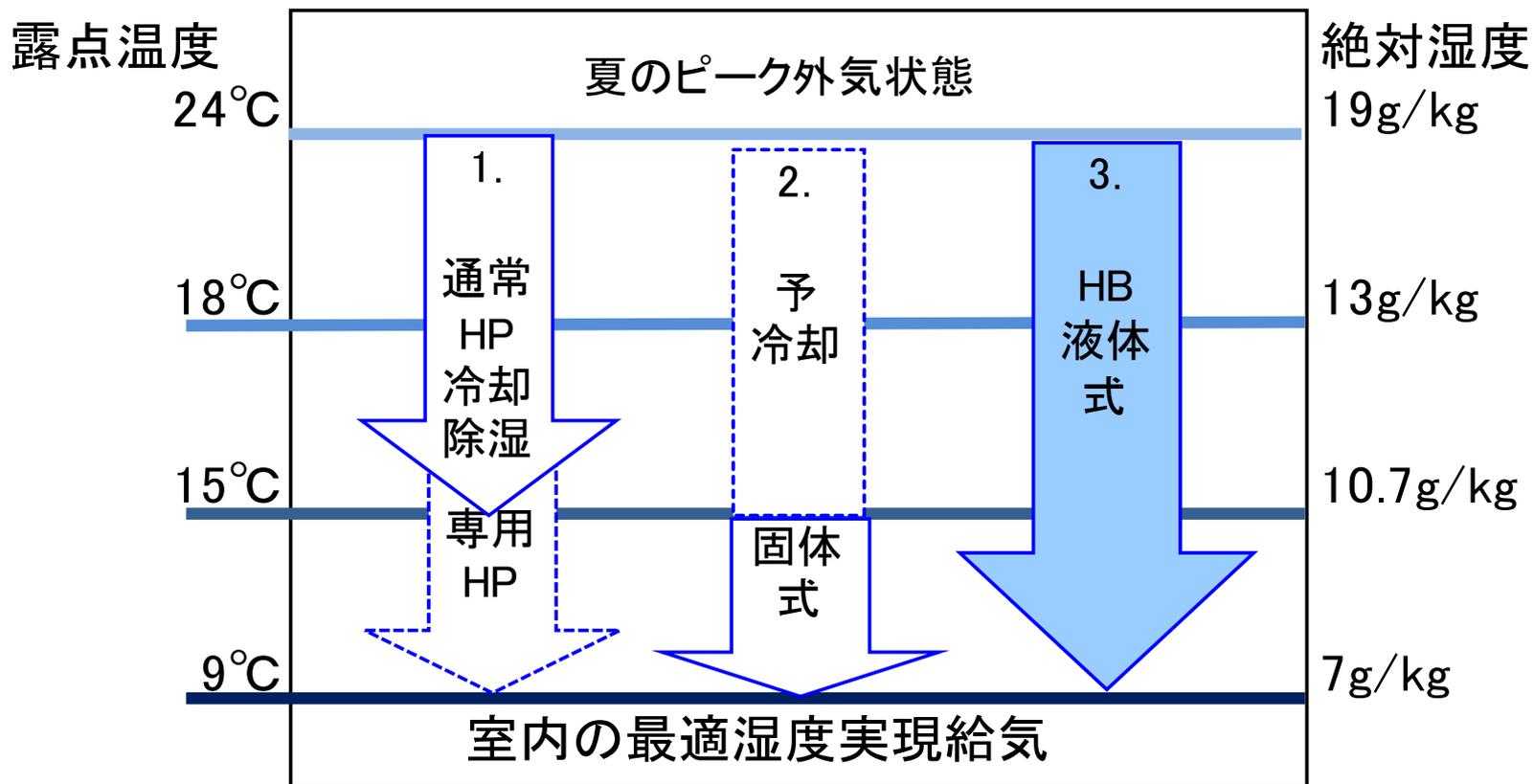


## 外気の潜・顕熱比



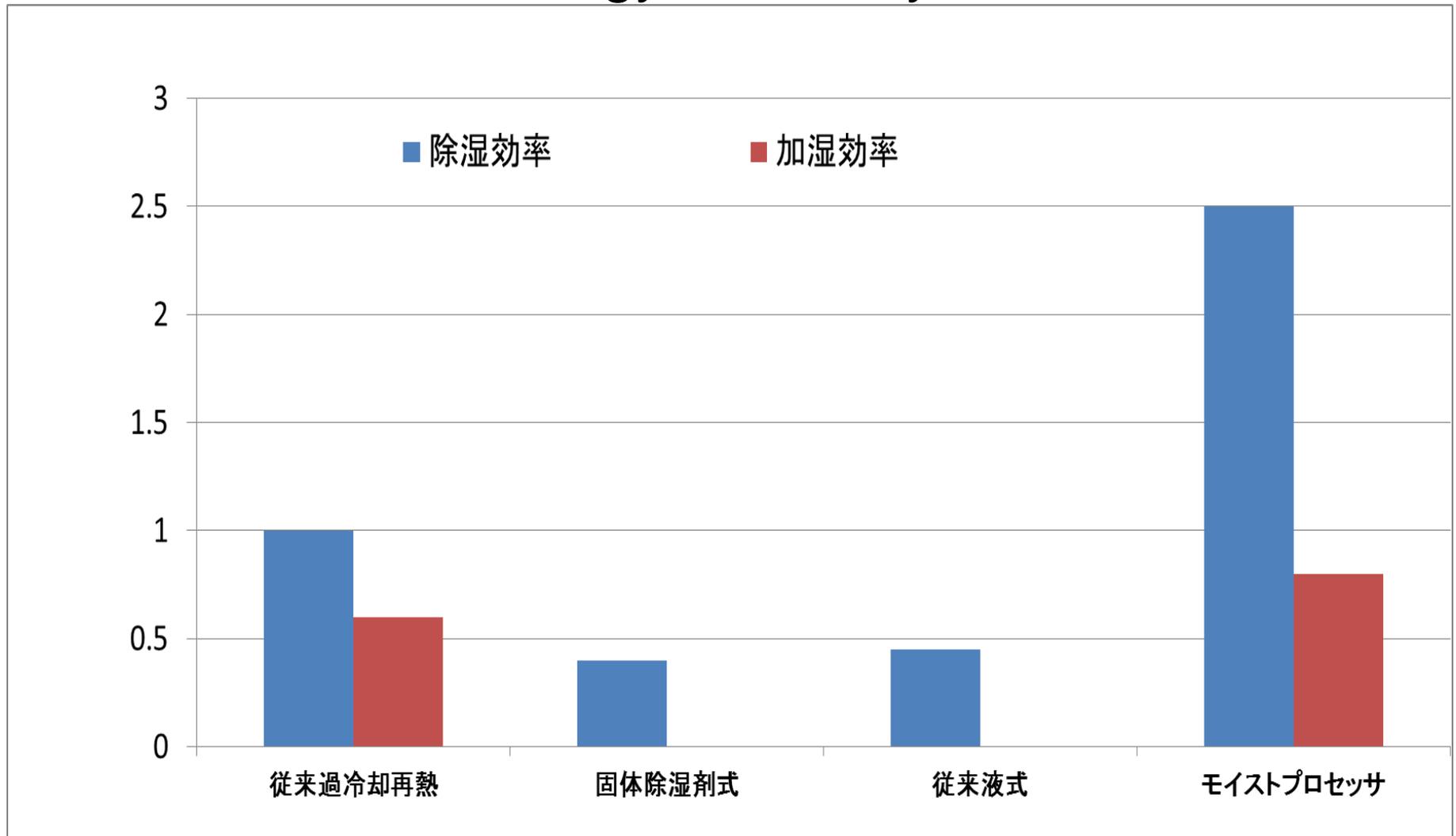
# 要素1-2. 傑出した除・加湿能力

## 単機能で外気処理できる除湿能力



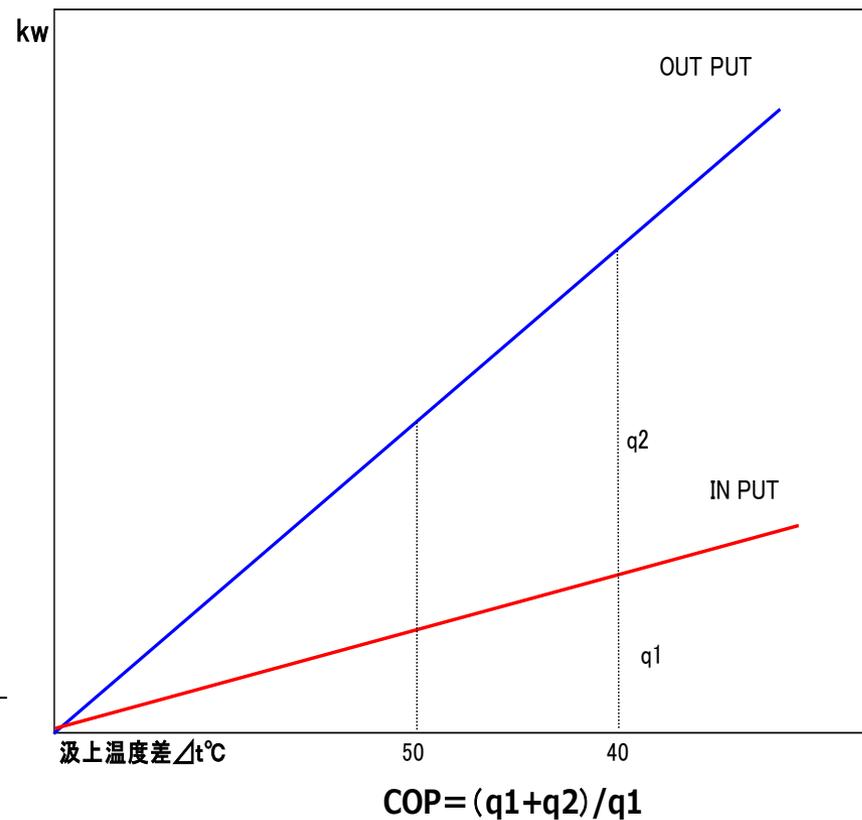
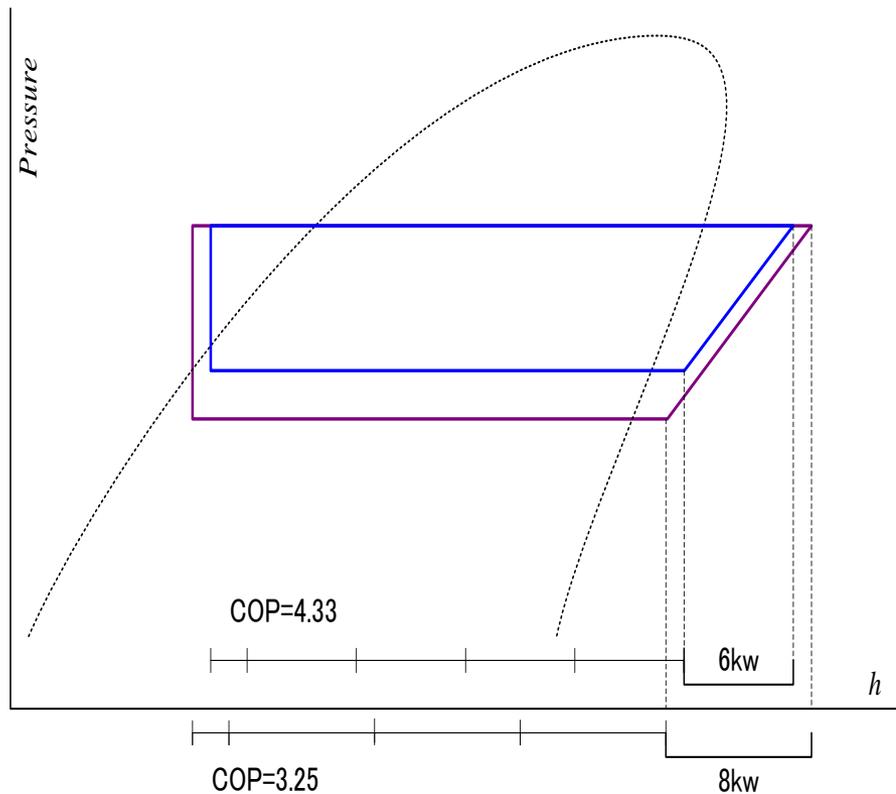
# 要素1-3. 外気処理装置の運転効率比較

## Energy Efficiency Ratio

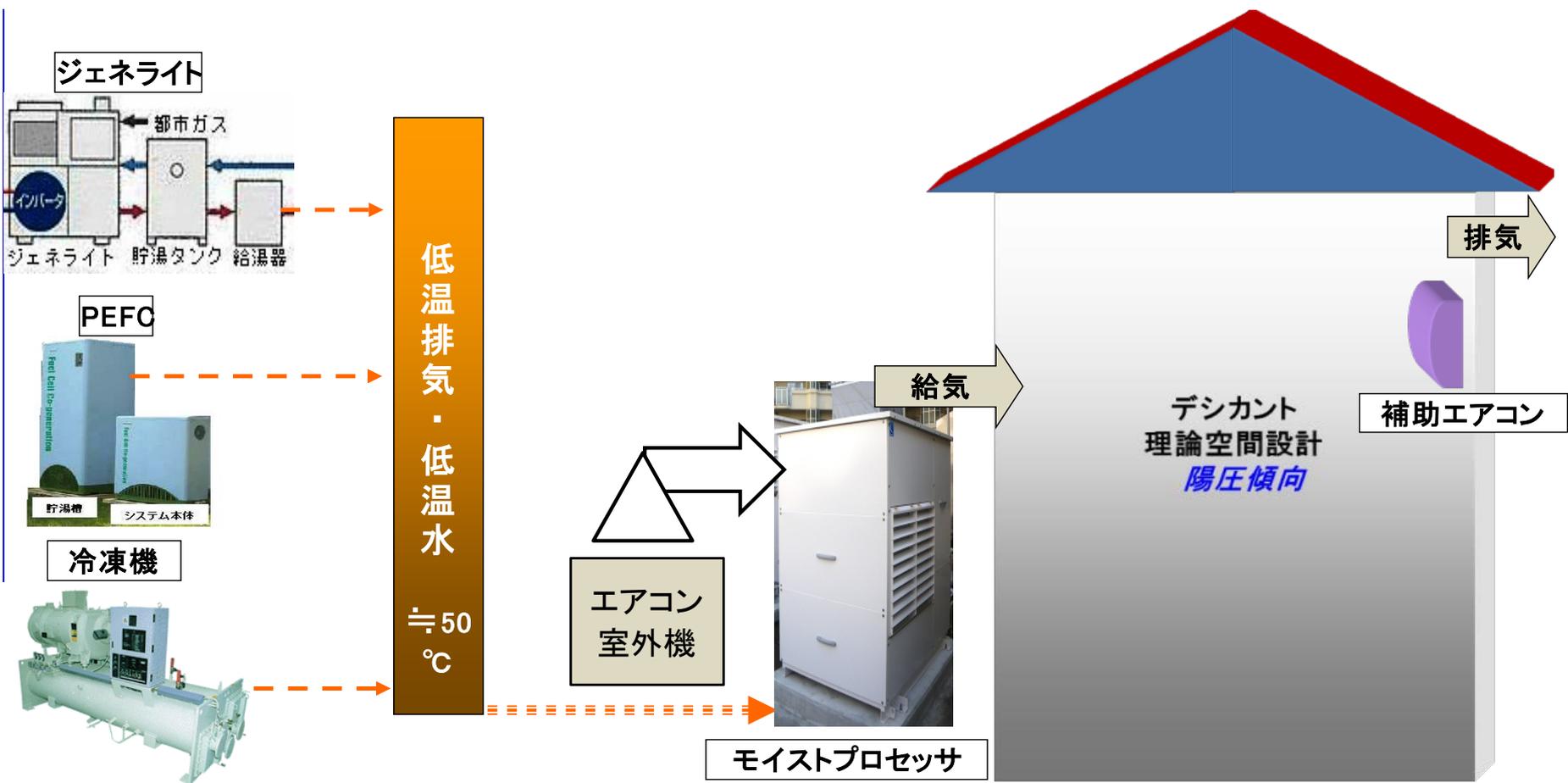


# 要素2-1. 高効率専用ヒートポンプ搭載

溶液の冷・加温は空気より負荷が小さい



## 要素2-2. 多彩・画期的的廃熱利用



## 要素3. 低圧力損失

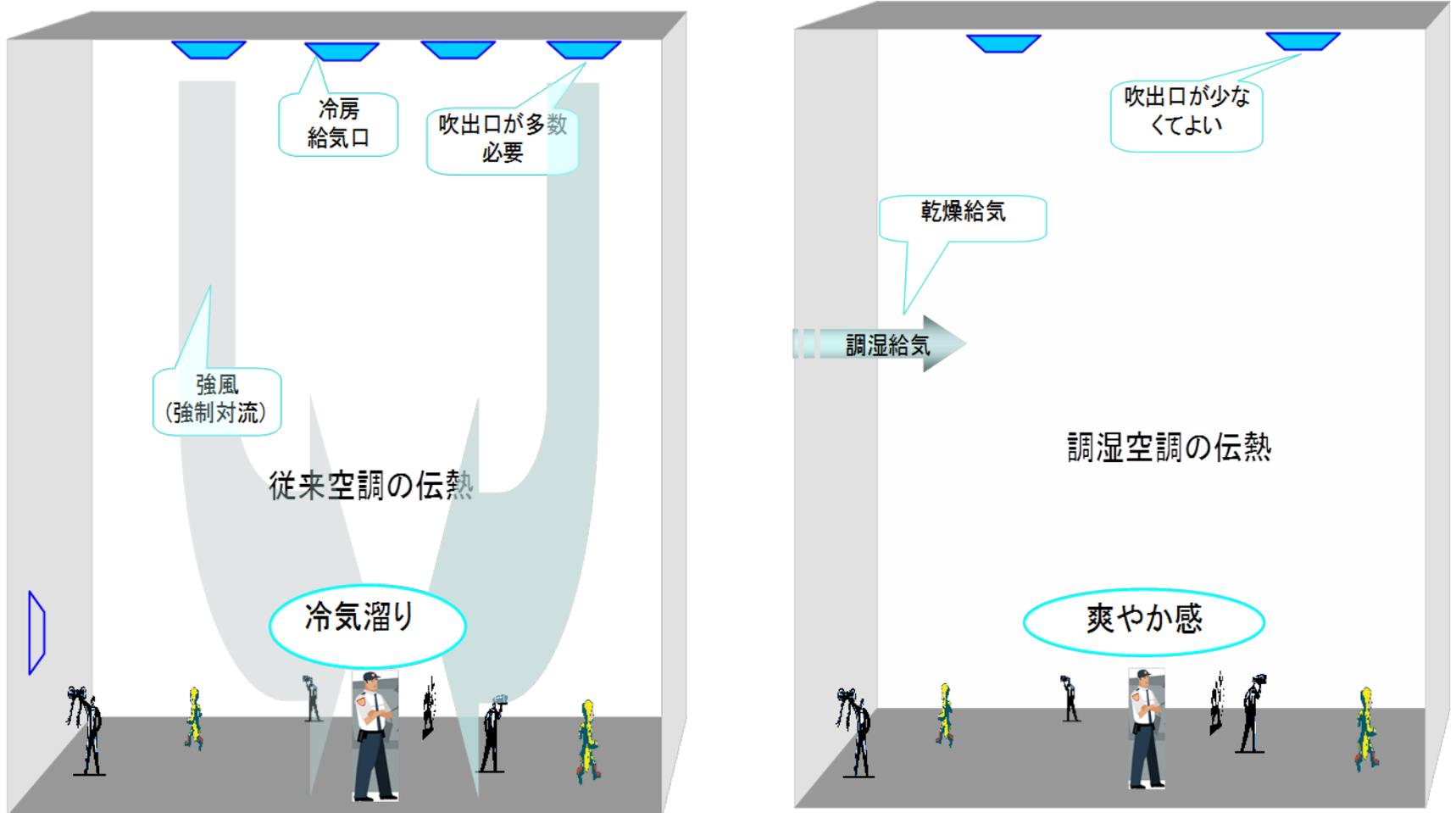
送風機の動力はエネルギー使用比率が高い



10,000m <sup>3</sup> 送風	従来外調機 (Pa)	モイストプロセッサー (Pa)
プレフィルタ	50	50
冷却コイル14列	150	
再熱コイル	100	
除菌装置	50	
消臭装置	100	
中性能フィルタ	50	
圧力損失計	500	150
<b>送風機 kw</b>	<b>11.5</b>	<b>5</b>

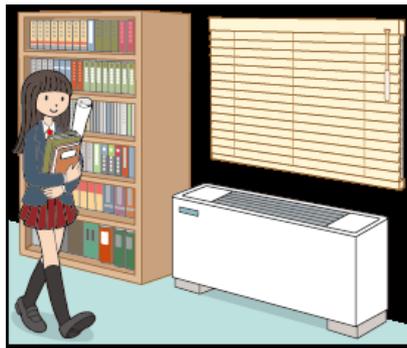
# 要素4. 特異な伝熱特性

## 伝熱設備を省力化、搬送動力を削減

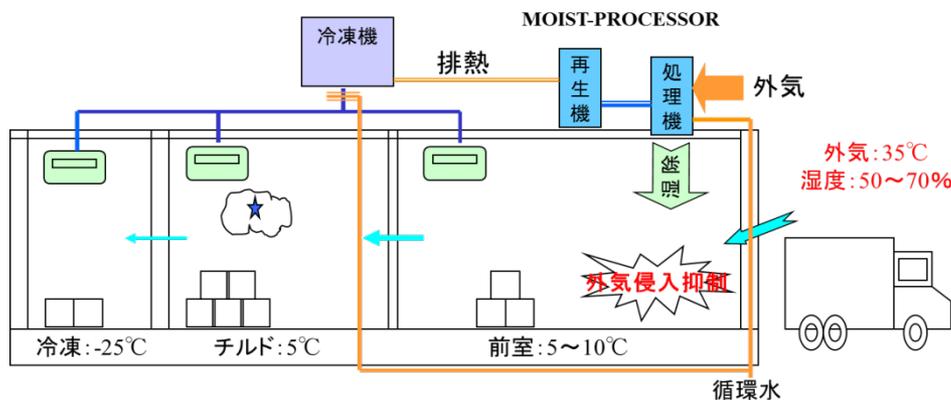


# 要素5. 併設冷却冷凍機器のエネルギー削減

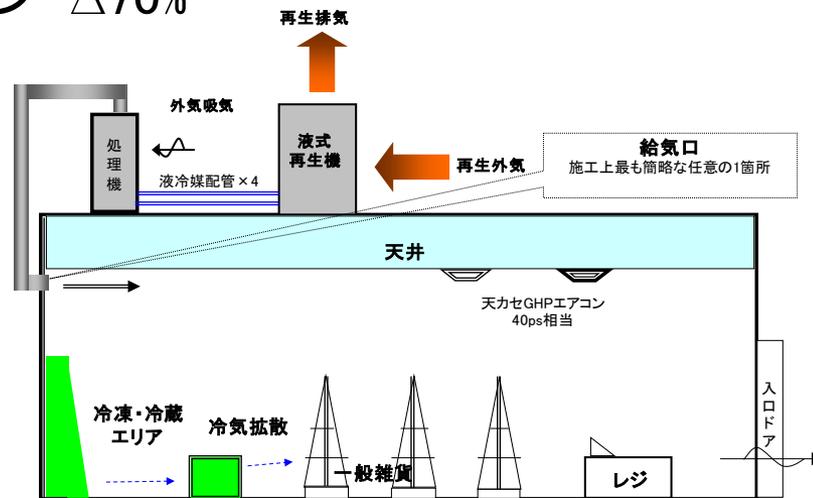
## 露点温度 $-1^{\circ}\text{C}$ につき2%電力削減



一般居室エアコン  $\Delta 70\%$



冷蔵冷凍倉庫・加工場



食品店舗